

研究に関する情報公開文書（オプトアウト）

京都府での訪問看護ステーションアンケート調査からみた在宅輸血に関する実態と課題

医療法人双樹会よしき往診クリニックでは、京都府訪問看護ステーション協議会に登録されている訪問看護ステーションを対象に、在宅輸血に関する実態と課題を明らかにするための研究を実施します。研究の概要は以下のとおりです。

| | |
|--------------|---|
| 研究課題名 | 京都府での訪問看護ステーションアンケート調査からみた在宅輸血に関する実態と課題 |
| 研究機関 | 医療法人双樹会よしき往診クリニック |
| 研究責任者 | 田中 裕子 |
| 研究機関の長 | 貝田 航 |
| 研究の目的 | 京都府の訪問看護ステーションにおける在宅輸血の実態を把握し、実施可能な看護行為や実施上の課題を明らかにすることで、改善策や支援体制の構築につなげることを目的とします。 |
| 対象となる事業所・回答者 | 2025年5月時点で京都府訪問看護ステーション協議会に登録されている192事業所のうち、本研究の質問紙調査票を受領した事業所および回答担当者 |
| 研究期間 | 倫理委員会承認日～2026年9月30日（予定） |
| 利用開始予定日 | 2025年6月1日 |
| 取得する情報 | 質問紙16項目への回答内容（在宅輸血の実施状況、実施可能な看護行為、実施上の課題、必要と考える支援体制、自由記述等） |
| 情報の取得方法 | 質問紙を郵送し、返信用封筒により回収します。謝礼送付のために必要な情報を別途取得する場合があります。回答票と謝礼関連書類は分けて管理する運用を想定しています。 |

| | |
|-----------------|---|
| 情報の利用方法 | 回答内容を統計的に集計・分析し、在宅輸血に関する実態と課題を検討します。結果は学会発表や論文等で公表しますが、特定の事業所や個人が識別される形では公表しません。 |
| 利用する者の範囲 | 本研究の研究責任者、研究分担者、解析担当者 |
| 情報の管理責任者 | 田中 裕子 |
| 個人情報の管理 | 回答票、謝礼送付に必要な書類、対応表、電子データはそれぞれ分離して適切に保管します。研究終了後5年間保管したのち、紙資料はシュレッダー等で廃棄し、電子データは復元できない方法で削除します。 |
| 研究への協力を希望されない場合 | 本研究への協力を希望されない場合は、質問紙を返送しないことで不同意とすることができます。すでに質問紙を返送された後でも、2026年9月30日までに、事業所名または通し番号を添えて下記窓口へご連絡いただければ、識別可能な期間に限り、可能な範囲で研究対象から除外します。ただし、匿名化又は集計が完了した後は対応できない場合があります。 |
| 問い合わせ先・拒否の受付窓口 | 医療法人双樹会よしき往診クリニック 研究責任者 田中裕子 TEL：075-381-2220 E-mail：info@yoc.or.jp 受付時間：平日 9:00~17:00 |
| 倫理審査 | 本研究は、医療法人双樹会倫理委員会の承認を受け、研究機関の長の許可を得て実施します。承認番号：SJ-EC-2025-01 |
| 研究費・利益相反 | 本研究は笹川保健財団による助成を受けて実施します。 その他の利益相反はありません。 |